

## 吹奏楽部における地域展開に関して

2024.11.18

### 課題その1…財源

- ・現在、継続的な予算の確保が約束されていない。指導者の謝金、楽器の備品購入や練習場所、楽器運搬など、他の分野と比べても、吹奏楽活動には費用がかかる。特に、楽器の維持費（修理・メンテナンス）にも多額の費用がかかる。運営者自らが財源を確保しない限り、保護者の負担となることは間違いない。
- ・**継続的に助成する法令または条例をつくってほしい。**

### 課題その2…練習場所

- ・音が出せる場所、および楽器を保管する場所の安定した確保、持続可能な活動には欠かせない。やはり、学校の校舎で活動することが一番望ましいと考える。又は、公民館や市文化会館などの公共施設との連携が必要である。近隣の高校や大学が受け皿となることも考えられる。移動のための巡回バスの用意などもあれば望ましい。
- ・**学校(音楽室)の施設開放の事業を利用してほしい。利用するためのセキュリティ対策を施す。**
- ・**地域クラブ(2校が合同)とした場合、平日は自校で個人練習をし、休日のみ拠点に集合して合奏する。(休日移行パターン)は考えられる。**

### 課題その3…人材

- ・毎回の練習では、少なくとも見守りや引率を安心して任せられる人材(学校部活動でいう部活動指導員)が必要となる。専門の指導員(外部指導者)も定期的に入ることが必須と考える。
- ・「地域バンドになっても関わっていきたい」と答える教員はかなり少ないと考える。
- ・**吹奏楽部活動指導者講習会の開催(吹奏楽連盟や大学などとの連携)**
- ・**資格認定の制度化**
- ・**人材バンクをつくって指導者とバンドとマッチング**

### 課題その4…モノ

- ・吹奏楽の演奏活動には、楽器、リードなどの消耗品をはじめ、楽譜や教則本、チューナー・メトロノーム、譜面台などが必要である。特に大きい楽器や打楽器はほとんどが備品で、練習場所においておく必要がある。
- ・**学校の備品楽器を借りる、使わなくなった楽器をあちこちから回収する。**